

- ◆研究者：今野 雅允 (コノ マサツ) 先生 / 東京理科大学生命医科学研究所 がん生物学部門
- ◆研究テーマ：膵臓がん特異的 RNA 塩基修飾に着目した新規抗癌剤の開発
- ◆助成金額：100 万円

1. 研究者になろうとしたきっかけ

高校の時に生物を学び、遺伝子による生物の制御に興味を持ちました。特に正常だった細胞が、がん細胞に変化するメカニズムに興味を持ち、研究者になろうと考えました。

2. 助成研究の内容紹介

膵臓がんは5年生存率が最も悪いがんです。その理由の一つとして膵臓がんは発見された時点で進行していることがほとんどであることが挙げられます。現在使用されている腫瘍マーカーでは早期の膵臓がんを検出することが困難であるためです。そこで今回の研究では早期の膵臓がんを高感度に検出できるマーカーの開発を目指します。

3. 2の将来に繋がる結果予想・目標

早期の膵臓がんを高感度に検出できるマーカーが開発できれば、膵臓がんは5年生存率の向上とがんの根治も夢ではなくなると考えています。

4. 全国の RFL 関係者に一言メッセージ

この度は数多くの応募の中から本研究を御採択いただき心よりお礼申し上げます。患者さんへの新たながん診断、治療を届けることができるように努力して参ります。